

## 〔普及の現場から〕

# 「がんばってます」まにわ和牛研究会」

真庭農業普及指導センター

### 1. はじめに

真庭地域で繁殖和牛を多頭飼育している有志により、平成6年に結成された任意団体が「まにわ和牛研究会」です。県内の和牛関係者のみなさんにご存じの方も多いと思いますが、とにかく元気の良い賑やかな団体です。

年々新規会員も増え、今年は会員数24名になり、飼っている牛の数もJAまにわ管内の4割を超えています。

今回は、子牛の低価格にもめげず頑張っている、最近の研究会の活動状況について報告させていただきます。

### 2. 育種価現地研修会

7月3日、新庄村の家畜市場跡で、育種価現地研修会が開催されました。この研修会は毎年テーマを決めて、自家の牛を集め、実際牛を見ながら、育種改良等についての研修を行うもので、今年で9回目の開催となります。会員だけでなく地域の和牛農家、関係機関、農業大学校の研修生等30名が参加し、盛大に行われました。

今回のテーマは「我が家の勝負牛」ということで、自慢の母牛を参加者にご覧いただき、出品者自らがセールスポイントを解説するという趣向で行いました。もちろん、育種価と名の付く研修会なので、改良するにあたって、育種価データをどのように活用したかについても述べました。

そして、審査員として、総合畜産センター片岡科長、全農家畜市場の柴田副審査役を招き、客観的な評価をしていただきました。

いずれの出品牛も、産肉能力が強化されるとともに、放牧をすることで受胎率や長命性

など繁殖能力も優れるすばらしい牛ばかりでした。

また、参考出品として「第1花園」の産子2頭を展示し、体型の特徴を研修しました。出品者は今後受精卵を採卵して、地域の改良に役立てたいと説明しました。

その後、これからの真庭地域ひいては岡山県の和牛改良についての意見交換をおこないました。



〈育種価研修会の審査風景〉

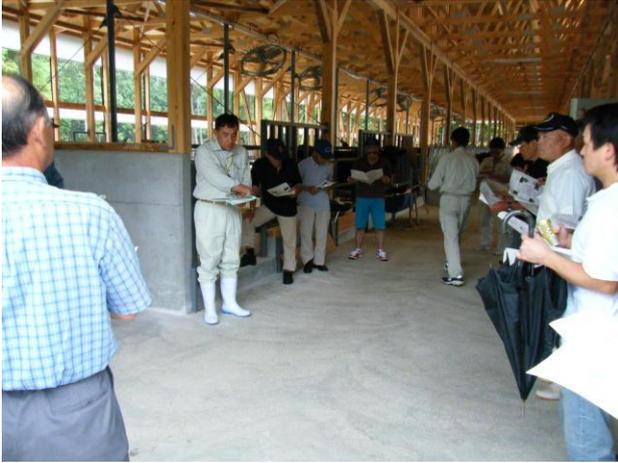
### 3. 夏期夫婦視察研修会

7月17日には新見市法曾に新しくできた井倉公共牧場に視察に行きました。この視察は「夫婦そろって牛を飼う」という会員が多いので、日頃の慰労も兼ねて、先進地視察は夫婦そろって参加しようという趣旨のもと、毎年行っています。

井倉公共牧場は4月に運営を開始したばかりなので、まだ、頭数は少ないのですが、繁殖牛や哺育子牛も預託できるというシステムということで、参加した会員は、今後、地域で増頭を図るための参考とすべく、熱心に説明を聞いていました。

## 岡山畜産便り 2009.08

また、総社市で生産された稲WCSの収穫作業受託や河川敷の雑草利用など、飼料の低コスト化に対する取り組みについても大変興味深く、kg単価や品質などいろいろ質問していました。



〈視察先で熱心に説明を聞く〉

### 4. 今後の活動

年次計画としては、会員相互訪問研修会、除角研修会、女性部研修会があります。

相互訪問研修会は、会員の牧場を訪問して、その飼養管理を研修するもので、年末に開催します。昨年、「牧場のいいところ探し」をしました。各牧場では、何かしら創意工夫を

こらしている事がままありますので、参加者はそれを見つけて、その農家を褒めると共に技を盗むことを狙いとしました。

除角研修会は、会員内外から除角の希望を募り、会所有の油圧式除角機を使って除角をして回るという、一種のボランティア活動です。「高齢で角のある牛を扱うのがこわい」「これから放牧を始めたいので角を切りたい」といった希望をされる地域の方々に喜ばれています。

また、女性部研修会は、特に女性が担当することの多い子牛の飼養管理などについての疑問が多くあるため、それらの勉強会を行っています。

### 5. その他の活動

以上の活動の他にも、「くろっけ」と名付けた会報の作成配付、会員所有の育種価データの配付、優良牛受精卵や精液の会員への斡旋、子牛市場情報の配付等々、精力的に活動を続けています。

今後は子牛価格の低迷を吹き飛ばすようにさらに活発に活動を行っていこうと会員全員意欲を高めています。